

茨城県内の道路橋等の状況

平成29年2月2日(木)

国道交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所 道路構造保全官
山室 久

(1)茨城県内道路橋の老朽化状況

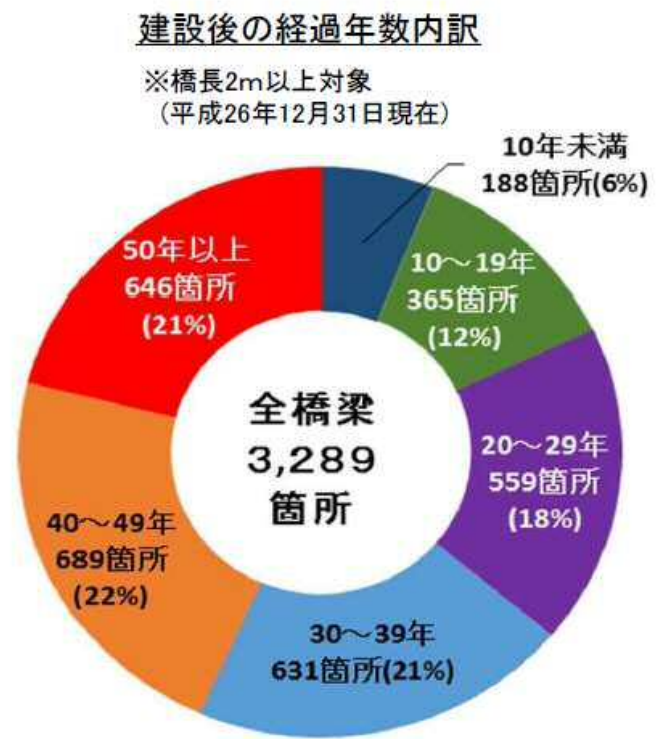
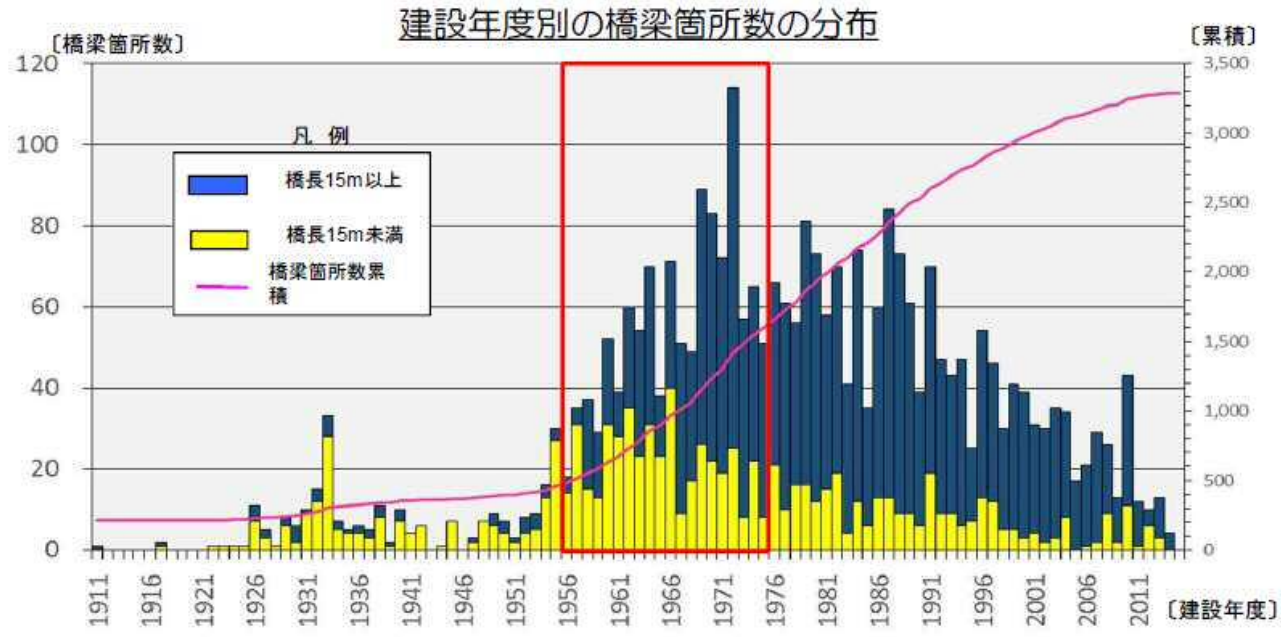
(2)茨城県内道路橋等の点検状況

(3)茨城県内の老朽化対策(補修)の取組事例

(1) 茨城県内道路橋の老朽化状況

茨城県内の道路橋の老朽化状況

○関東地方整備局が管理する道路橋3,289箇所のうち、全体の35%にあたる1,164箇所が高度経済成長期と言われる1955年から1975年にかけて建設されています。今後これらの橋梁の高齢化が一層進展していくことから、多額の修繕・架替え費用が集中的に必要となることが懸念されます。(平成26年12月31日現在)



建設後50年以上の橋梁箇所数の増加

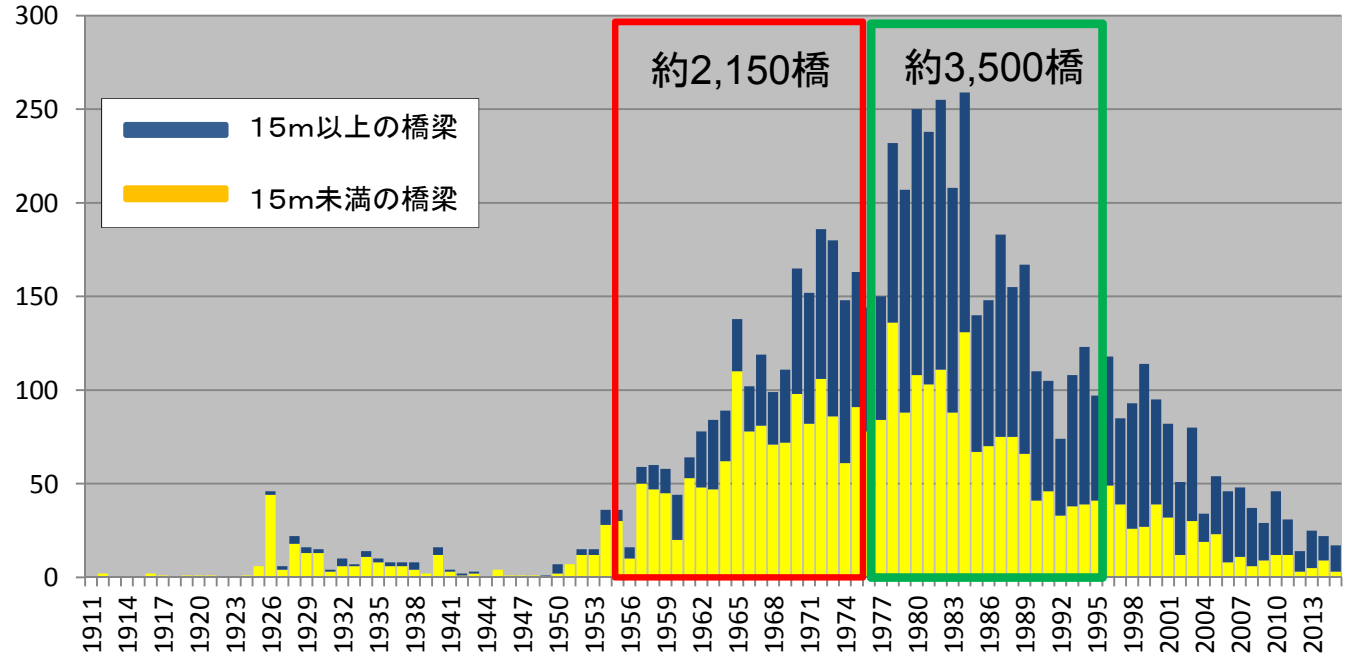


建設後50年以上の橋梁
建設後50年未満の橋梁
(平成26年12月31日時点)

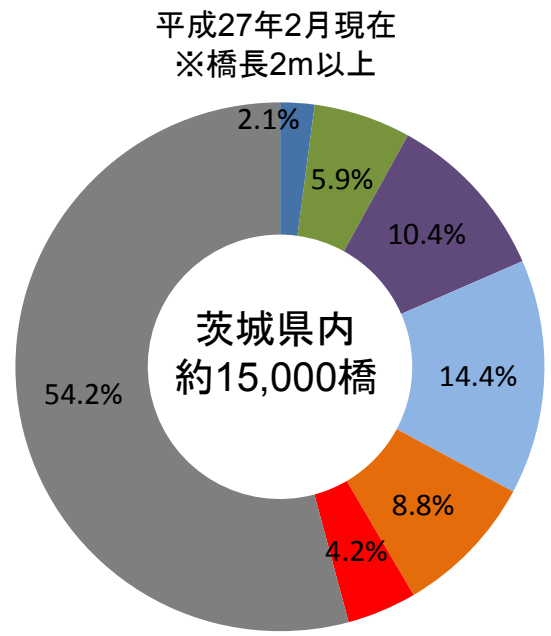
茨城県内の道路橋の老朽化状況

茨城県内にある橋梁（約15,000橋）の内、建設年次が確認できている橋梁は、高度経済成長期の1955年から1975年代にかけて建設された橋梁より、その後の20年で建設した橋梁の方が多い。
しかし、約54%（約8,200橋）は建設年次が不明である。

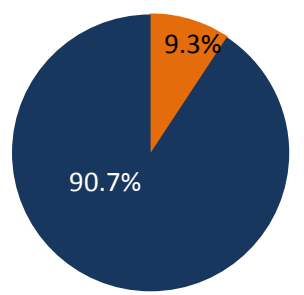
建設年次別橋梁数の分布



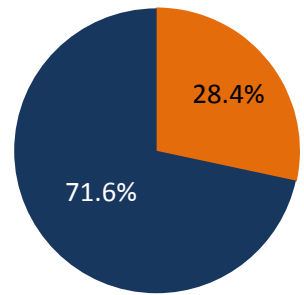
建設後の経過年数内訳



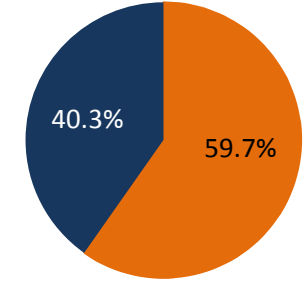
■ 50年以上
■ 50年未満



【現在】(2016年度)



【10年度】(2026年度)



【20年度】(2036年度)

■ 10年未満
■ 10～19年
■ 20～29年
■ 30～39年
■ 40～49年
■ 50年以上
■ 建設年次不明

茨城県内の道路橋の老朽化状況

建設年次不明の橋梁のほとんどが市町村が管理する橋梁で、用水路上に農道を整備する際に架設されたた橋梁で橋梁台帳等が整理されていないため、建設年次の確認が取れないようです。

どの橋も決して新しい橋とはいえない。

建設年次不明橋の例



これまでに県内で実施した点検結果で「IV」緊急措置段階とされた橋梁の約8割は建設年次が不明であった。



点検について

茨城県内の道路橋の老朽化状況

H26.7月より道路管理者は、全ての道路橋やトンネル等について、5年に1回、近接目視による**定期点検**を実施し、健全性を4段階に診断し、必要な措置を行っています。



点検



措置(補修)

診断

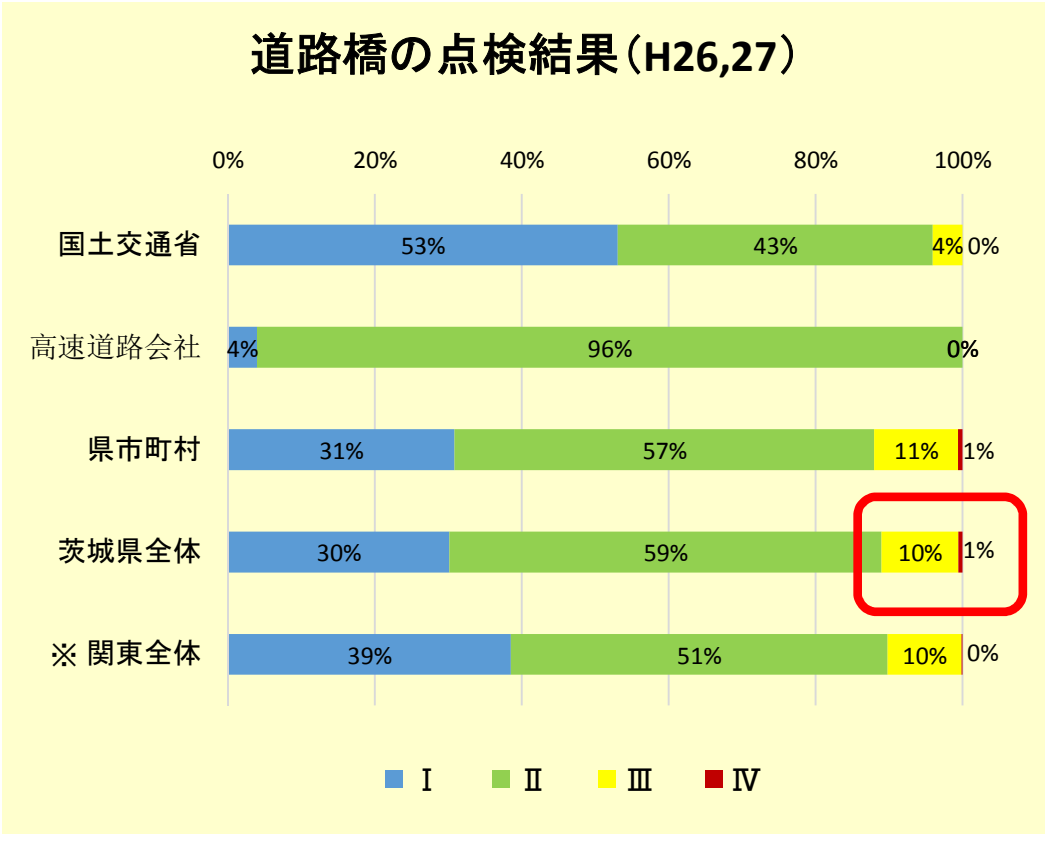
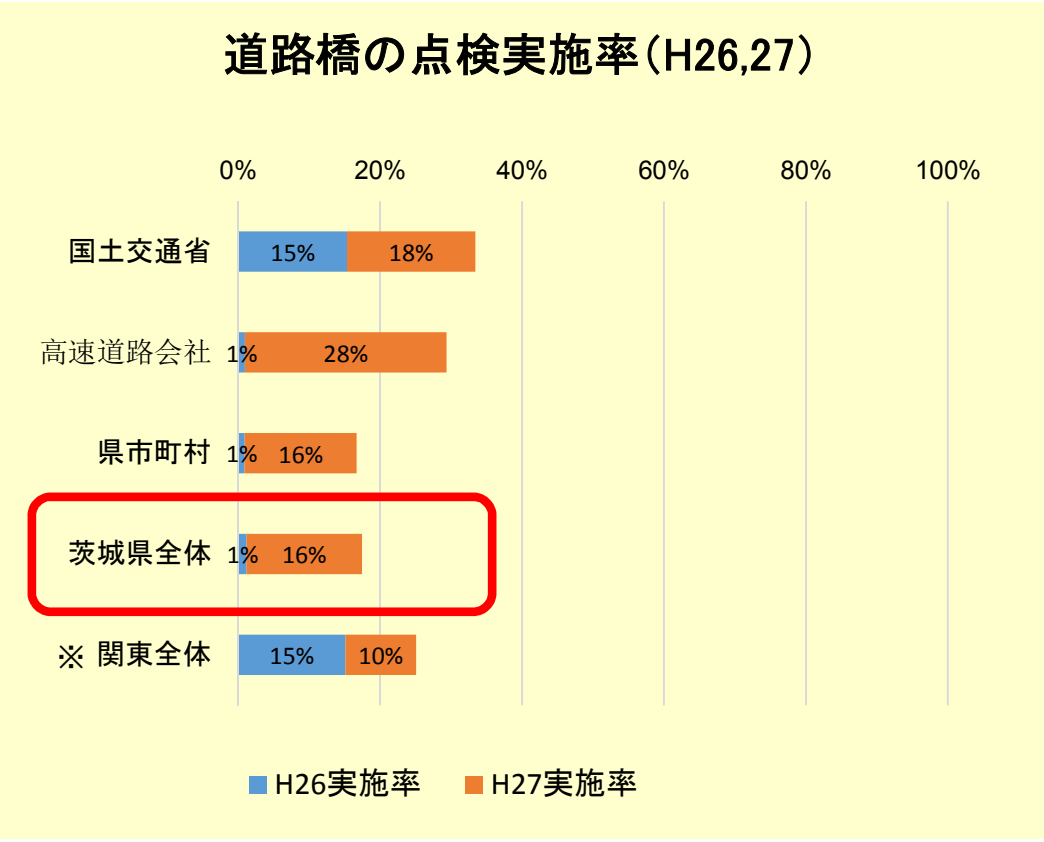
区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

(2) 茨城県内道路橋等の点検状況

茨城県内道路橋等の点検状況

平成26年、平成27年で、茨城県内道路橋点検実施率は、約17%となっている。
点検結果のうち約11%がⅢ、Ⅳの判定であった。

(道路メンテナンス年報H28.9より)

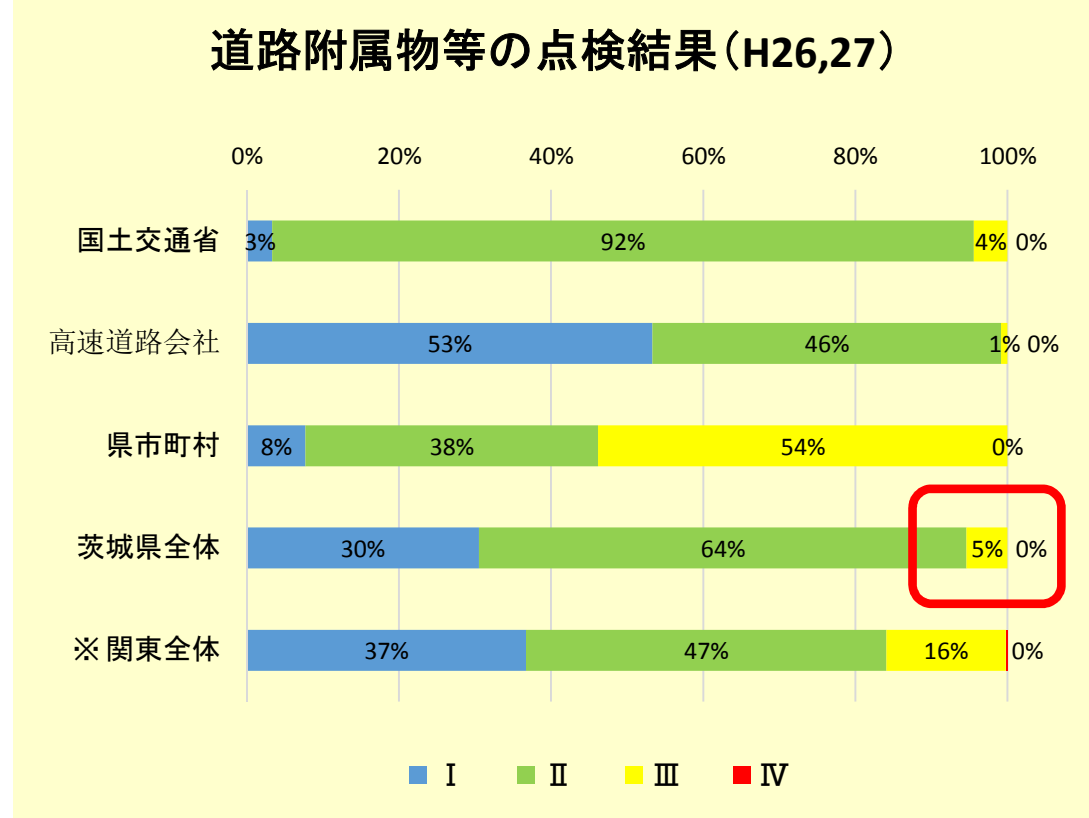
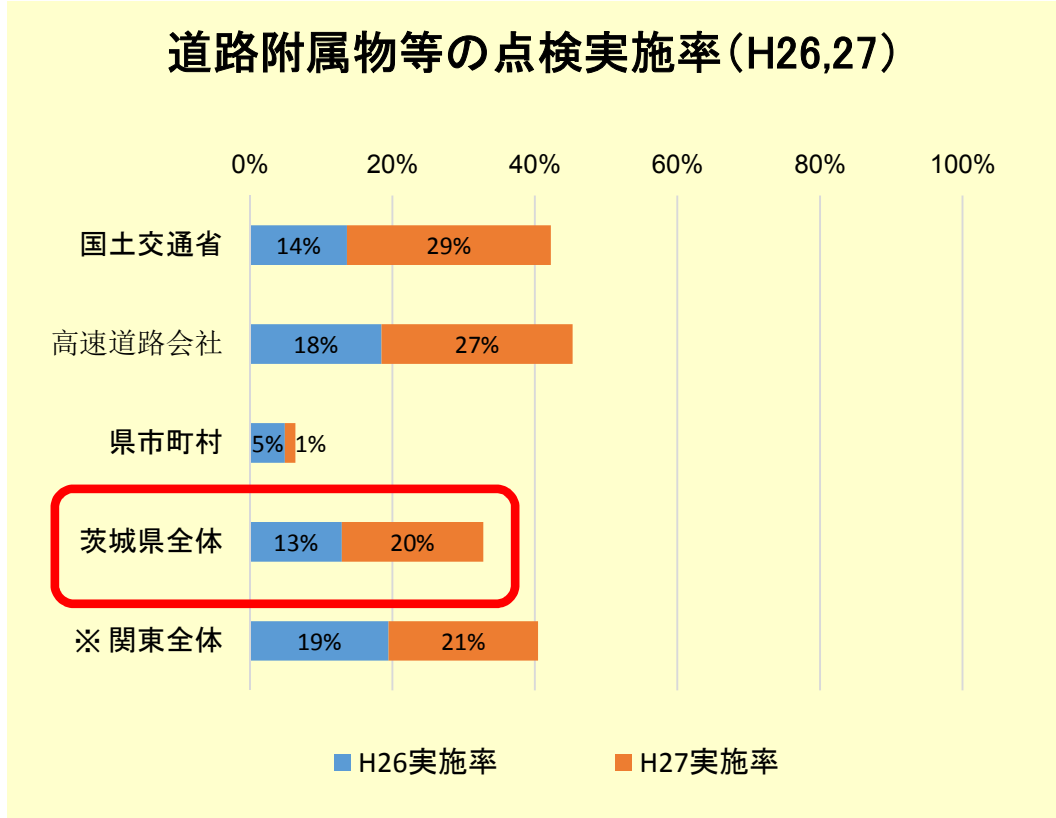


※ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、山梨県の数値

茨城県内道路附属物等の点検状況

平成26年、平成27年で、茨城県内道路附属物等の点検実施率は、33%となっている。
点検結果のうち約5%がⅢの判定であった。

(道路メンテナンス年報H28.9より)



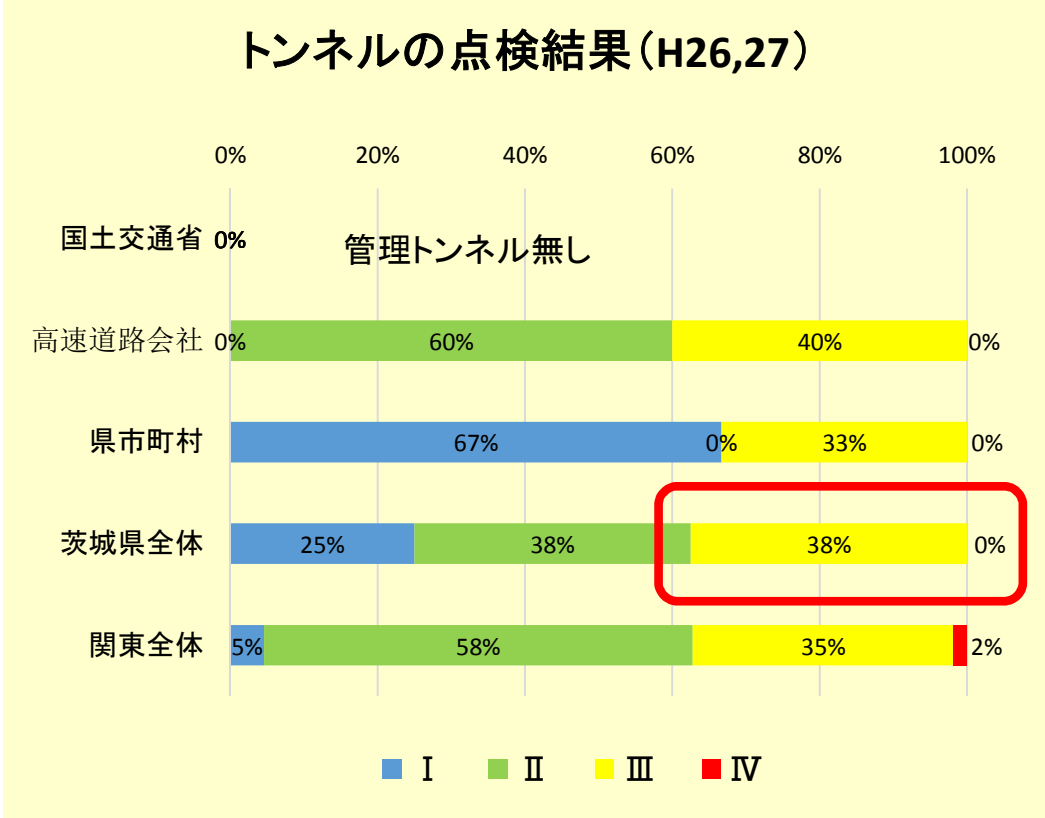
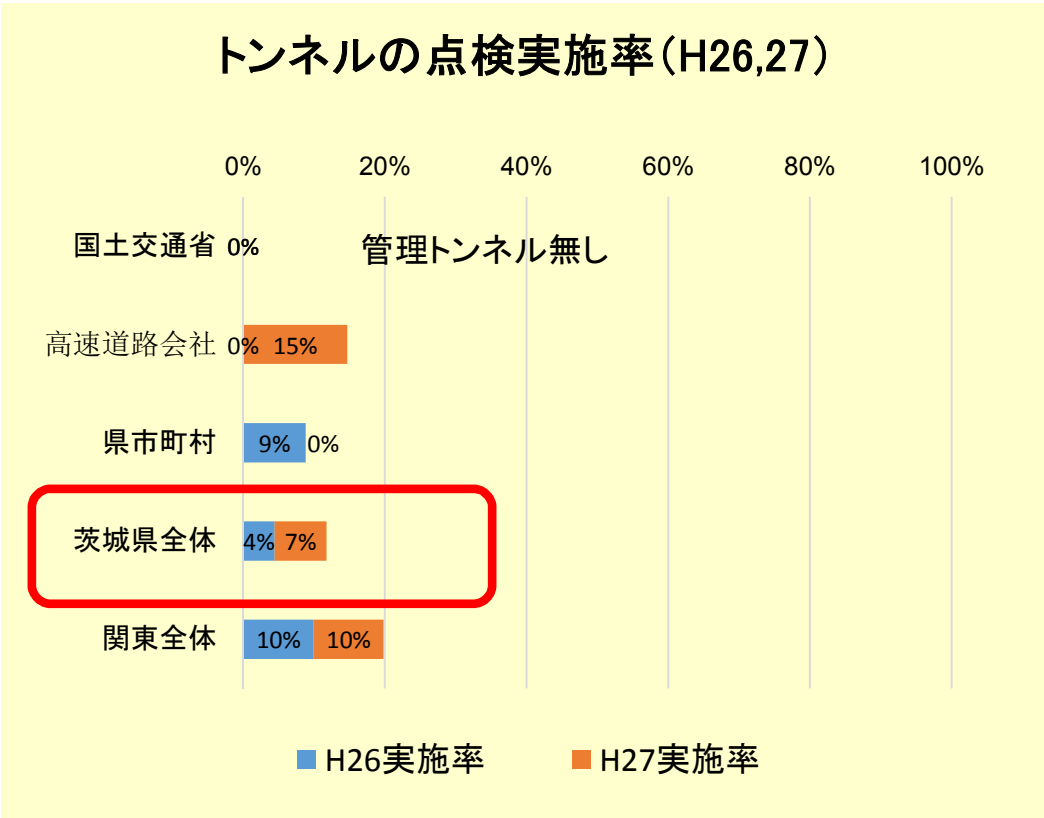
※ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、山梨県の数値

道路附属物等とは、「大型カルバート等」「横断歩道橋」「門型標識等」

茨城県内トンネルの点検状況

平成26年、平成27年で、茨城県内トンネルの点検実施率は、11%となっている。
 点検結果のうち約38%がⅢ判定であった。

(道路メンテナンス年報H28.9より)



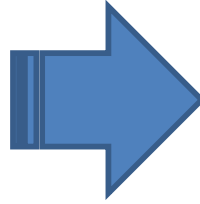
※ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、山梨県の数値

(3)茨城県内の老朽化対策(補修)の取組事例

支障部の対策



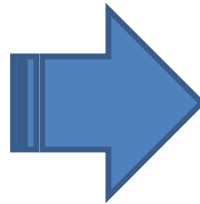
before



after



before



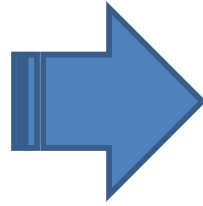
after

茨城県内道路橋等の老朽化対策

塗装対策



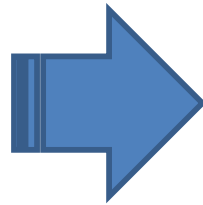
before



after



before



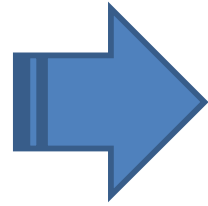
after

茨城県内道路橋等の老朽化対策

断面補修等対策



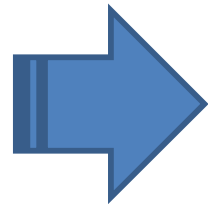
before



after



before



after

まとめ

今年度(平成28年度)は約4,200橋の点検を実施しており、点検率は今年度末で約46%になります。

しかし、あと2年で半数以上の橋梁を点検する必要があります。

また、点検とともに補修を行う必要もあります。

道路管理者としては、メンテナンスサイクルを適切に実施し、公共財産の維持に努めて参ります。

ご静聴ありがとうございました。